

案件 2 2016年度の人権及び平和に関する事業内容について

(1) 人権施策推進事業

① 講座「生きること」

開催日	テーマ	講師	参加人数
9月9日	「相談を通して出会った、素敵な方たち ～悩む力強さに、励まされて～」	大阪地方検察庁 再販防止対策室 社会福祉アドバイザー（京都地検兼務） 京都社会福祉士会 相談役・保護司等 中川 るみさん	43人
9月14日	「動物が生きた証を未来に残す ～なにわホネホネ団の13年から～」	なにわホネホネ団 団長 西澤 真樹子さん	39人
9月21日	「僕の妻は認知症 ～夫婦の絆～」	枚方市老人介護者家族の会 （ほっこりの会）理事 外山 努さん	76人
9月28日	「生きている喜び ～チャレンジは果てしなく～」	車いすの元気配達人 柳岡 克子さん	31人

会場：サンプラザ生涯学習市民センター視聴覚室

[注]・市（人権政策室・生涯学習課）、教育委員会（社会教育課）、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会の共催。
・啓発記録冊子の発行 「生きること」1,000部。

② 人権文化セミナー

開催日	内容	会場	参加人数
10月1日	映画「風は生きよという」上映 新居優太郎さん（出演者）、新居真理さん（母）のお話	ラポールひらかた 大研修室	140人

[注] 特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会と共催。

③ 人権週間事業

開催日	内容	会場	参加人数
12月2日	人権悩みごと相談（人権擁護委員による相談）	サンプラザ生涯学習市民センター 第3集会室	-
12月2日	街頭啓発	京阪電車枚方市駅前・樟葉駅前 JR長尾駅前	-
12月8日	ダ・カーポ トーク&コンサート ～野に咲く花のように～	市民会館大ホール	1,095人

[注]「街頭啓発は、市（人権政策室・障害福祉室）、教育委員会（社会教育課）、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会、枚方地区人権擁護委員会、枚方事業所人権推進連絡会の共催。「ダ・カーポ トーク&コンサート」は前述及び北河内人権啓発推進協議会の共催。

④ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業

開催日	内容	会場	参加人数
12月8日	北朝鮮人権侵害問題啓発パネル展	市民会館大ホール 2階ロビー	一人

⑤ 広報啓発 計1回（広報ひらかた6月号）

⑥ 街頭啓発活動 計2回 就職差別撤廃月間駅前街頭啓発（6月10日）・人権週間事業駅前街頭啓発（12月2日）

⑦ 人権相談事業 計151件（障害者6件、高齢者3件、女性9件、労働10件、男性7件、その他116件）

（2017年1月末現在）

(2) 非核平和都市宣言推進事業

① 妙見山煙突見学会

開催日	内 容	会 場	参加人数
4月5日	春の「妙見山の煙突」の見学会	妙見山配水池内煙突（旧陸軍造兵廠香里製造所施設）	414人
11月19日	秋の「妙見山の煙突」の見学会	妙見山配水池内煙突（旧陸軍造兵廠香里製造所施設）	55人

[注] 4月5日実施分は、五常校区コミュニティ協議会の「さくら祭り」と共催。

② 憲法のつどい

開催日	内 容	会 場	参加人数
5月26日	講演会「パラリンピックが私にくれたもの」 講師：鈴木ひとみさん（ユニバーサルデザイン啓発講師）	メセナひらかた会館 多目的ホール	155人

[注] 手話通訳者を配置・要約筆記を実施・点字資料を作成。

③ 夏季平和事業

開催日	内 容	会 場	参加人数
7月30日～ 8月11日	平和資料室特別展「原爆の図」 ～原寸大複製画と写真パネルによる特別展～	中央図書館 平和資料室	999人
8月6日	平和映画会 ①「紙屋悦子の青春」 ②「父と暮せば」	中央図書館 多目的室	① 68人 ② 69人
8月6日	平和ライブラリーコンサート 出演：枚方演奏家協会	中央図書館 エントランスホール	121人
8月10日	夏季平和映画会「わたしはマララ」 ※①14:30～、②18:30～の2回上映	メセナひらかた会館 多目的ホール	① 326人 ② 185人

[注] 夏季平和映画会「わたしはマララ」で、手話通訳を実施。保育利用者①8人、②2人。

④ 「バスで巡る市内の戦争遺跡」

開催日	内 容	会 場	参加人数
10月29日	「バスで巡る市内の戦争遺跡」	平和資料室及び市内に残る 戦争遺跡（9カ所）	20人

⑤ 3.1「枚方市平和の日」記念事業（予定）

開催日	内 容	会 場
2月28日	エフエムひらかた特別番組「平和っていいな」 ・出演者 枚方市原爆被害者の会 会長 森容香さん ・放送日 2月28日（火）午後1時～午後2時 再放送 3月4日（土）午後8時～午後9時	—
3月1日	「ひらかた平和フォーラム」 ・平和メッセージ発表 交北小学校（4年生）、小倉小学校（6年生）、 桜丘中学校（2年生） ・講演会 写真家 長倉洋海さん 「私が出会った子どもたち」 ・ロビーに写真を展示 ※枚方市市制施行70周年記念プレ事業として実施	メセナひらかた会館 多目的ホール及び2階ロビー
3月4日 ～16日	平和資料室特別展 写真家・長倉洋海「地球を生きる子どもたち」	中央図書館 平和資料室
3月3日 ～3月15日	企画展「枚方に煌めくアール・ブリュットの星座30人」	サンプラザ生涯学習市民センター 市民ギャラリー
3月11日 ※荒天時は 12日に順延	「平和の燈火（あかり）」 ・約10,000個のキャンドルのあかり ・あかりコンサート （関西アカペラサークル Vox Chord、キズナのウタコンサート出 演者） ・学生等によるキャンドルアートの展示 ・バスボム教室 ・模擬店 ※3月4日に枚方 T-SITE「学びのひろば」で大学生による平和に 関する絵本の読み聞かせを実施 ※3月9日に中宮北小学校（4年生）で平和学習出前授業 ※東日本大震災の復興への募金活動を実施 ※昨年使用したキャンドルを原材料にした「再生キャンドル」を 募金協力者に配布 ※枚方市市制施行70周年記念プレ事業として実施	岡東中央公園
3月17日	平和映画会「母と暮せば」 ① 14:00～ ②18:30～	市民会館大ホール

[注]・「ひらかた平和フォーラム」は枚方市教育委員会と共催。

- ・「平和の燈火（あかり）」は、教育委員会、枚方市平和の燈火（あかり）実行委員会と共催。
- ・企画展「枚方に煌めくアール・ブリュットの星座30人」は、文化生涯学習室と共催。
- ・「ひらかた平和フォーラム」で、手話通訳・要約筆記・補聴システムを実施。
- ・「平和の燈火（あかり）」で、手話通訳を実施。
- ・平和映画会「母と暮せば」で、手話通訳・補聴システムを実施。日本語字幕付き。

⑥ その他

各非核平和関連事業の会場に「折り鶴コーナー」を設置し、平和への願いを込めて鶴を折ってもらった。集まった折り鶴は千羽鶴にして、広島・長崎へ届ける予定。

案件 3 障害者差別解消法施行に伴う本市の取り組みについて

(1) 差別解消推進体制の整備

① 枚方市障害者差別解消推進体制の確立に向けて

- 平成 28 年 4 月 「枚方市障害者差別解消地域協議会設置要綱」施行
「枚方市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を任命権者ごとに策定
「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」策定
- 平成 28 年 6 月 第 1 回枚方市障害者差別解消支援地域協議会を開催
- 平成 28 年 9 月 第 1 回枚方市障害者差別解消支援地域協議会調整会議を開催

< 代表者会議 >

障害福祉室、人権政策室、商工振興課、保健予防課、施設整備室、土木総務課、市立ひらかた病院事務局総務課、教育委員会事務局教育総務課
大阪法務局、枚方寝屋川消防組合、市立小学校校長会、基幹相談支援センター、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、北大阪商工会議室、大阪弁護士会
障害当事者（視覚・聴覚・肢体・知的・精神）

< 調整会議 >

< 事務局会議 > + 人権政策室 + 必要な構成メンバー

< 事務局会議 >

障害福祉室 + 基幹相談支援センター

① 差別をされたときの相談窓口の設置

	名 称	連絡先
市	枚方市福祉部障害福祉室	枚方市大垣内町 2-1-20 電話 072-841-1457 FAX 072-841-5123
基 幹 型	パーソナルサポートひらかた	枚方市中宮山戸町 10-12-105 電話 072-848-8825 FAX 072-848-7920
	地域支援センターゆい	枚方市津田元町 1-9-21 電話 072-808-2422 FAX 072-808-2423
	相談支援センター陽だまり	枚方市交北 2-7-15 電話 072-809-0015 FAX 072-809-0015
相 談 支 援	障害者相談支援センターわらしべ (身体障害者)	枚方市長尾谷町 1-101-1 電話 072-868-1301 FAX 072-868-3305
	地域生活支援センターにじ (知的障害者)	枚方市伊加賀西町 52-12 電話 072-845-1451 FAX 072-845-1451
	クロスロード (精神障害者)	枚方市川原町 9-4 第 2 浜田ビル 2 階 電話 072-843-4100 FAX 072-843-4100

相談ケースは事務局会議等で検討して、迅速・的確に必要な助言・支援等を行う

○ 平成28年度相談受付実績（4月～12月）

	差別等の種別	行政機関	事業所
1	障害者に対する「不当な差別的取扱い」に関する相談事例		4件
2	障害者に対する「合理的配慮の不提供」に関する相談事例	1件	2件
3	障害者に対する「合理的配慮の提供」の好事例		
4	その他障害者から「不快・不満」として寄せられた事例		2件

（2）啓発・研修・学習会等の実施

①□ 啓発

- 広報ひらかた平成28年1月号 障害者差別解消法施行の記事掲載 18万6200部発行
- 平成28年3月 枚方市ホームページに障害者差別解消関係のPRを掲載
- 平成28年4月 「障害のある人への差別をなくそう！」A4判パンフレット 3,000部作成
- 広報ひらかた平成28年12月号 特集「差別のない社会へ」4ページ

②□ 研修

開催日	内容	会場	人数
4月6日	新任職員研修 講師：障害福祉室職員	野外活動センター	82人
4月13日	新任課長基本研修 講師：障害福祉室職員	枚方市職員研修室	22人
4月28日～ 7月22日	民生委員研修（地区委員会研修）8回実施 講師：相談支援センター職員	生涯学習市民センター など	267人
9月27日～ 9月30日	市職員人権研修「障害者差別解消法について」 次長・課長を対象に4回実施。受講者が各部署で全職員 （臨時職員除く）対象に研修。 講師：基幹相談支援センター職員＋福祉部職員	職員会館など	204人
10月16日	社会福祉法人心愛職員研修 講師：福祉部職員	心学塾作業所食堂	20人

③□ 学習会・講演会

開催日	内容	会場	人数
1月8日	市民講演会 講師：大阪府立大学 三田優子准教授	地域活性化支援センタ 一大会議室	123人
平成26年11 月8日～28年 11月6日	地域支援センターゆい主催の学習会 主として知的障害のある人を対象に8回開催 講師：大阪府立大学 三田優子准教授	ラポールなど	405人
10月12日	手話サークル青柿「なんでも、どこでも出前塾」 講師：福祉部職員	ラポール研修室	35人
12月4日	障害者差別に関する講演会「ほっこりひらかた2016」 講師：日本障害者協会理事 佐藤久夫氏	ラポール大研修室	61人

(3) 今後の予定

- 平成29年1月 第2回枚方市障害者差別解消支援地域協議会調整会議
(事務局会議+人権政策室+当事者委員)
- 平成29年3月 第2回枚方市障害者差別解消支援地域協議会代表者会議

案件 4 本市におけるいじめ問題の現状と取組内容について

○いじめの認知について

・いじめ認知件数の推移【公立】

認知件数（千人率）		24年度	25年度	26年度	27年度
小学校	枚方市	861 (37.4)	471 (20.7)	62 (2.8)	289 (13.1)
	大阪府	2,720 (5.9)	2,601 (5.7)	2,800 (6.3)	7,376 (16.7)
	全国	116,258 (17.5)	117,688 (18.0)	121,635 (18.8)	149,516 (23.3)
中学校	枚方市	395 (34.7)	325 (28.6)	72 (6.4)	117 (10.6)
	府	1,949 (8.5)	1,941 (8.5)	1,789 (8.0)	2,340 (10.6)
	全国	60,931 (18.6)	53,646 (16.5)	51,200 (15.9)	56,952 (17.8)

○取組内容について

(1) 枚方市いじめ防止基本方針の制定

平成25年6月28日に「いじめ防止対策推進法」が公布され、それに伴い、文部科学省では平成25年10月に「いじめの防止等のための基本的な方針」が策定された。本市においても「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、国及び大阪府の基本方針を参考に、「枚方市いじめ防止基本方針」を策定し、平成26年7月に制定。

(内容)

①いじめの防止等のための対策の基本的な方向

いじめの定義、いじめの未然防止に向けた取組等

②いじめの防止等のための対策の内容

・教育委員会が実施する取組

いじめの未然防止・早期発見、教育委員会が設置する組織（枚方市いじめ問題対策連絡協議会、枚方市学校いじめ対策審議会）の設置等

・学校が実施する取組

学校いじめ防止基本方針の策定、いじめの防止等に関する取組の具体化等

・重大事態への対処

教育委員会または学校による調査、調査結果の報告を受けた市長による再調査及び措置等

(2) いじめ防止推進月間

9月を「いじめ防止推進月間」と位置づけ、広報ひらかた、ホームページ、ツイッター等で市民への啓発活動を実施。いじめは「いつでもどこでも誰にでも起こりうる」という認識の下、市民みんながいじめに関する鋭い感性を持って、いじめの未然防止、早期発見に努め、子どもたちの健全育成を進める。

(3) 「ストップ!いじめ」の発行

保護者の方々に、よりいじめ問題についてわかりやすく、いじめを受けない・いじめを行わない子どもたちを学校と保護者が連携して育ていけるよう、毎年いじめ問題啓発冊子「ストップ!いじめ」を作成。小中学校の新入生保護者に配付。



(4) 幼児対象いじめの未然防止に係る人形劇の実施

幼児期から、友情や友達について考え、他人を思いやる心など豊かな人間性を育むための一助となるよう、平成 21 年度より、枚方市内の幼稚園や保育所、保育園で人形劇の公演を実施。昨年も公演希望が 23 施設からあり、抽選で 10 施設を 11 劇団で公演を実施し、約 1200 人の幼児・保護者・教職員が観覧。本年度も、枚方市内の幼稚園、認定こども園、保育所・保育園、で 10 公演を実施。

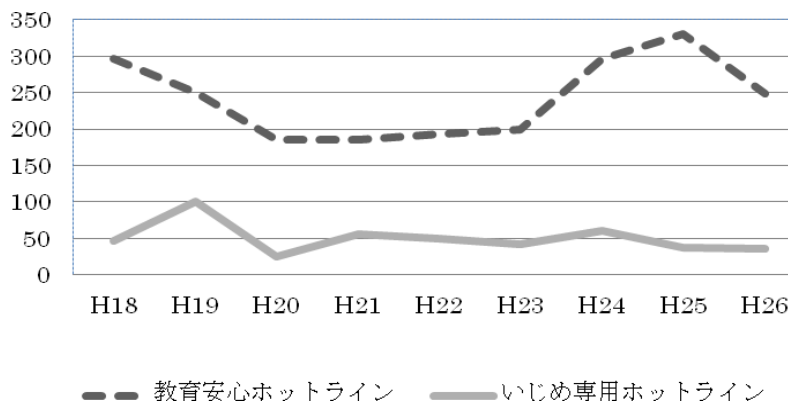
(5) 子どもの笑顔を守るコールの開設

「いじめ専用ホットライン」と「教育安心ホットライン」の 2 回線をまとめて「子どもの笑顔を守るコール」と呼称し、平日の午前 9 時から午後 5 時まで教育相談を実施。保護者や子ども自身からかかってくる電話相談に応じる。

昨年度は、いじめ専用ホットラインに 39 件、教育安心ホットラインに 255 件の相談があり、そのうちいじめに関する相談は 32 件。ほとんどが保護者からの相談。子ども自身からの相談も全体で 10 件ある。電話相談にかかったいじめの相談については、学校がわかるものについては、学校へ連絡し、すぐに対応するとともに、対応の経過について、随時教育委員会に報告。

事業の周知については、「子どもの笑顔を守るコール」カードを年度初めに枚方市立全小中学校・幼稚園に配付するとともに、ホームページやツイッターで周知。

【相談数の経年変化】



(6) 「枚方市生徒指導マニュアル」の発行

職員向けとして、平成 25 年に「枚方市生徒指導マニュアル」として、いじめ防止編を作成し、各学校において校内研修などで活用。